

# 居住地校交流だより

令和8年1月19日発行〈後期号〉

障害のある子どもたちと障害のない子どもたちが共に活動する機会を通して、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶことができるように、国、県と共に交流及び共同学習を推進しています。本校でも、児童生徒が自分の住んでいる地区の学校を訪問し、居住地校交流を行っています。今年度は年間を通して小学部23名、中学部8名の児童生徒が交流を行うことができ、たくさんの人と出会い、触れ合い、様々な体験を味わうことができました。今号では、後期に実施した交流の様子を紹介いたします。



## 早口小学校1年生(生活)

「魚釣り」や「どんぐり迷路」など手作りのおもちゃを使って、和やかな雰囲気の中、交流をしました。

## 城西小学校3年生(体育)

ボールを使った「転がしバレー」では、友達から「ナイス!」と声を掛けられ、楽しく交流しました。

## 釈迦内小学校3年生(図工)

チョークを使った制作活動をしました。後半は校庭の鉄棒で遊ぶなどリラックスして交流できました。

## 扇田小学校4年生(音楽)

「リズム伴奏づくり」の活動をしました。友達と一緒に楽器を演奏し、交流を楽しみました。



## 北陽中学校1年生(音楽)

箏(こと)の活動に参加しました。小学校時代の友達と久しぶりに再会し、楽しく交流ができました。

## 田代中学校1年生(特別活動)

「なべっこ」に参加し、友達と協力しながら調理をしました。美味しくできあがって大満足の交流でした。

## 第一中学校2年生(特別活動)

ボッチャの活動後、相手の友達が生活単元学習で取り組んでいることを紹介してくれました。

## 東中学校3年生(美術)

粘土を使って和菓子を作りました。最後に、友達からプレゼントとメッセージカードをもらいました。

## 保護者の方の感想

相手校の子たちが、一緒にやろうと声を掛けてくれたので、伸び伸びと授業に参加することができていました。

親が不安でしたが、授業を聞いて楽しそうにしており、知っている友達も声を掛けてくれてありがたかったです。

みんなが手を繋いで案内したり、やり方を丁寧に教えてくれたりしました。お友達とやり取りする姿が見られて良かったです。

帰り際に、「また来年!」と子どもたち同士やり取りをしていたので、来年また行かせたいと思います。



## 交流校の先生からの感想

支援学校の先生が事前に授業をしてくださったので、交流児童に対して気持ちの良い対応をしようという行動が見られました。

居住地校交流を通して、本校生徒も人との関わりや自分自身の行動を振り返る機会となり、成長するきっかけをいただきました。

保育所時代に一緒に過ごした児童が積極的に関わっていて、それを見た他の子どもたちも意識していたようでした。

毎年続けている交流なので、子どもたちの心の中で「友達」という意識が芽生えています。素晴らしい交流だと思います。



令和7年度の居住地校交流への御協力、ありがとうございました。令和8年度も有意義な交流を実施できますよう、保護者の皆様、小・中学校の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

ありがとう  
ございました



よろしく  
おねがいします。